

ホーチミン市都市鉄道建設事業(ベンタインー スオイティエン間(1号線))

JICAは、円借款・技術協力を通じてホーチミン市都市鉄道(ベンタインー スオイティエン間(1号線))を支援しています

事業概要

ホーチミン市中心部のベンタインから、市東部のスオイティエンまで、総延長19.6kmの都市鉄道(地下2.5km及び高架17.1km)を建設。

CP1a: 三井住友建設・CIENCO4(越企業)JV
地下区間0.75km(ベンタイン駅~オペラ駅手前(1駅))

CP1b: 清水建設・前田建設 Joint Operation (JO)
地下区間1.75km(オペラ駅手前~バーソン駅(2駅))

CP2: 住友商事・CIENCO6(越企業) Consortium
高架区間17.1km(11駅)、車両基地(21ha)

CP3: 日立製作所
電気・通信・信号システム、車両、軌道、開業後5年間の保守等
コンサルティングサービス: NJPT (JV名) (日本工営等)

ベトナム南部最大の都市であるホーチミン市の人口は 2005 年の 624 万人から 2019 年には900万人まで増加。これに伴い市内での二輪車および四輪車の登録台数も1990年の121万台、25万台から2014年には4,119万台、232万台へと増加し、交通渋滞の深刻化、交通事故の増加、大気汚染の悪化等の問題が生じています。本事業は、ホーチミン市において、都市鉄道を建設することにより、増加する交通需要への対応を図り、ホーチミン都市圏の交通渋滞及び大気汚染の緩和や地域経済の発展に寄与するものです。なお、本事業では日本の技術を活用した土木工事や車両設計等を行っています。

タンソンニャット国際空港

